



平成19年4月10日

各 位

会 社 名 クラリオン株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 泉 龍彦
 (コード番号 6796 東証・大証各第一部)
 問 合 せ 先
 責任者役職名 常務執行役員 広報室担当
 氏 名 川 本 英 利
 T E L (048) 443-1111 (代 表)

平成19年3月期業績予想修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、昨年11月14日に公表いたしました当社平成19年3月期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）連結及び単独決算の業績予想につきまして、次のとおり修正いたします。

1. 平成19年3月期連結業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成18年11月14日発表)	186,000	5,000	4,000	1,300
今回修正予想 (B)	180,000	3,000	1,900	△ 900
増 減 額 (B-A)	△ 6,000	△ 2,000	△ 2,100	△ 2,200
増 減 率 (%)	△ 3.2	△ 40.0	△ 52.5	—
前期実績(平成18年3月期)	184,176	5,228	4,547	5,862

2. 平成19年3月期単独業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成18年11月14日発表)	136,000	2,700	1,700	100
今回修正予想 (B)	128,000	0	△ 600	△ 2,400
増 減 額 (B-A)	△ 8,000	△ 2,700	△ 2,300	△ 2,500
増 減 率 (%)	△ 5.9	△ 100.0	—	—
前期実績(平成18年3月期)	135,278	2,449	1,998	2,948

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

3. 修正の理由

(連結) 平成19年3月期の連結業績予想につきましては、欧州、中南米でのEMS事業の拡大並びに北米OEM市場は好調に推移したものの、国内車両販売台数の減少及び販売車種構成の変化による国内OEM市場での販売の低迷、国内外市販市場での販売競争の激化及び販売価格の著しい下落等により、売上高は減少となる見込みです。

損益面につきましては、単独における売上高の減少による収益減、操業度の悪化並びに原価低減等の合理化未達により、営業利益、経常利益、当期純利益とも中間決算時に公表しております業績予想を下回る見込みです。

(単独) 平成19年3月期の単独業績予想につきましては、国内OEM市場での販売の低迷、国内外市販市場での販売競争の激化及び販売価格の著しい下落等により、売上高は減少となる見込みです。

損益面につきましては、売上高の減少による収益減、操業度の悪化並びに原価低減等の合理化未達により、営業利益、経常利益、当期純利益とも中間決算時に公表しております業績予想を下回る見込みです。配当予想(年間2円)は変更いたしません。

なお、株式会社日立製作所との資本提携の強化並びに株式会社ザナヴィ・インフォマティクスの子会社化に伴い、平成20年3月期は新たなクラリオンのスタートとなりますので、次期中期経営方針につきまして、別途公表する予定です。

以 上